

## 小学校 6学年 本時学習指導案

### 1:単元名 「新しい日本、平和な日本へ」

### 2:単元の概略

第2次世界大戦後に、日本はどのような歩みをしてきたのかを調べたり考えたりする。  
戦後の日本の改革や発展の内容を知り、現在の社会や自分たちの生活と結びつけて考える。  
戦争や戦後に外国との間に起こっている問題について調べ、それらの問題に対して自分の考えを持つ。

### 3:北方領土教育への視点

- 第2次世界大戦後に、生まれた北方領土問題を解決しようとしてきた様々な努力や運動について知り、政治や人権の問題として領土問題への理解を深めることができる。
- 戦争以外の方法で、外国との問題を平和的に解決する方法を考えることができる。

### 4:小単元展開の概要 (全8時間)

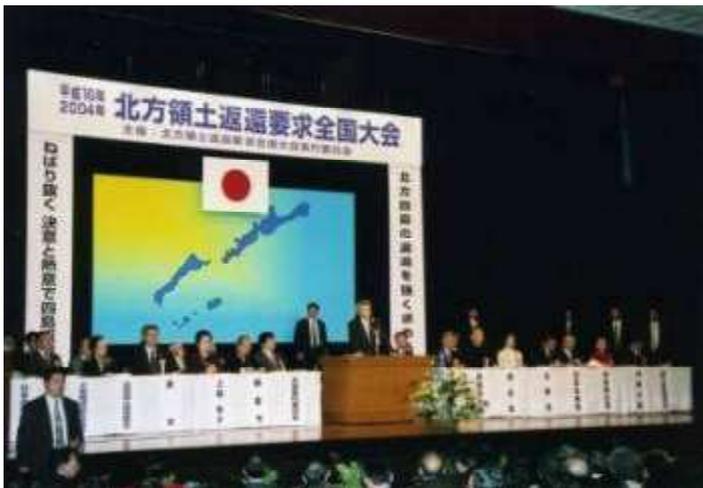
- 第1時：戦後の日本はどのようにして発展してきたのだろうか？（東京オリンピック・新幹線等）
- 第2時：戦後の改革で、社会はどのように変わったのだろうか①？（戦後の改革・憲法制定）
- 第3時：戦後の発展で、社会はどのように変わったのだろうか②？（国際社会への復帰・経済復興）
- 第4時：日本には、今どのような問題があるのだろうか？（北方領土問題への焦点化）
- 第5・6時：日本は、北方領土問題をどのように解決しようとしてきたのだろうか？  
（第5時 解決への努力<交渉・署名> 第6時 交流の実際<ビザ無し交流・人道支援>）
- 第7時：外国との問題をどのように解決していけばいいのだろうか？（政治の役割・国民の努力）

### 5:本時(第5時)の展開概要

《主なねらい》 主な学習内容と大まかな流れ	指導上の留意点	使用資料等
<b>導入</b> ①どのようにして北方領土問題を解決できるか、考えを 発表しあう。(5分) 「ロシアの人と話し合う」 「4島に住んでいる人と交流して理解し合う」 「国際連合とかで話し合っ決めて」 「日本政府がしっかり交渉する」 「日本人に、もっと知ってもらおう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに調べたことを基に、考えたことを自由に発表させる。</li> <li>・「交渉」「交流」「協力」といった言葉で解決の方法をまとめていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード</li> </ul>
<b>展開</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         学習課題                          日本は、北方領土問題をどのように解決しようとしてきたのだろうか？                     </div> ②「日本とソビエト・ロシアの外交交渉の年表」や「北方領土返還要求署名収集数」の資料を読み取り、領土問題解決への努力について考える。(25分) 「ずっと交渉を続けてきている」 「50年以上も交渉しているのになぜ解決できないのか。そんなに難しい問題なのか」 「1973年からは、毎年100万人以上の人署名している。700万を超えた年もある」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・署名収集数のグラフを提示し、署名の期間や署名収集数を確かめる。</li> <li>・年表を提示し、交渉の期間や回数などを確かめる。</li> <li>・二つの資料から、考えたことや思ったことをメモして発表し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計資料「北方領土返還要求署名収集数」</li> <li>・年表「日ソ・日ロ交渉経緯」</li> </ul>

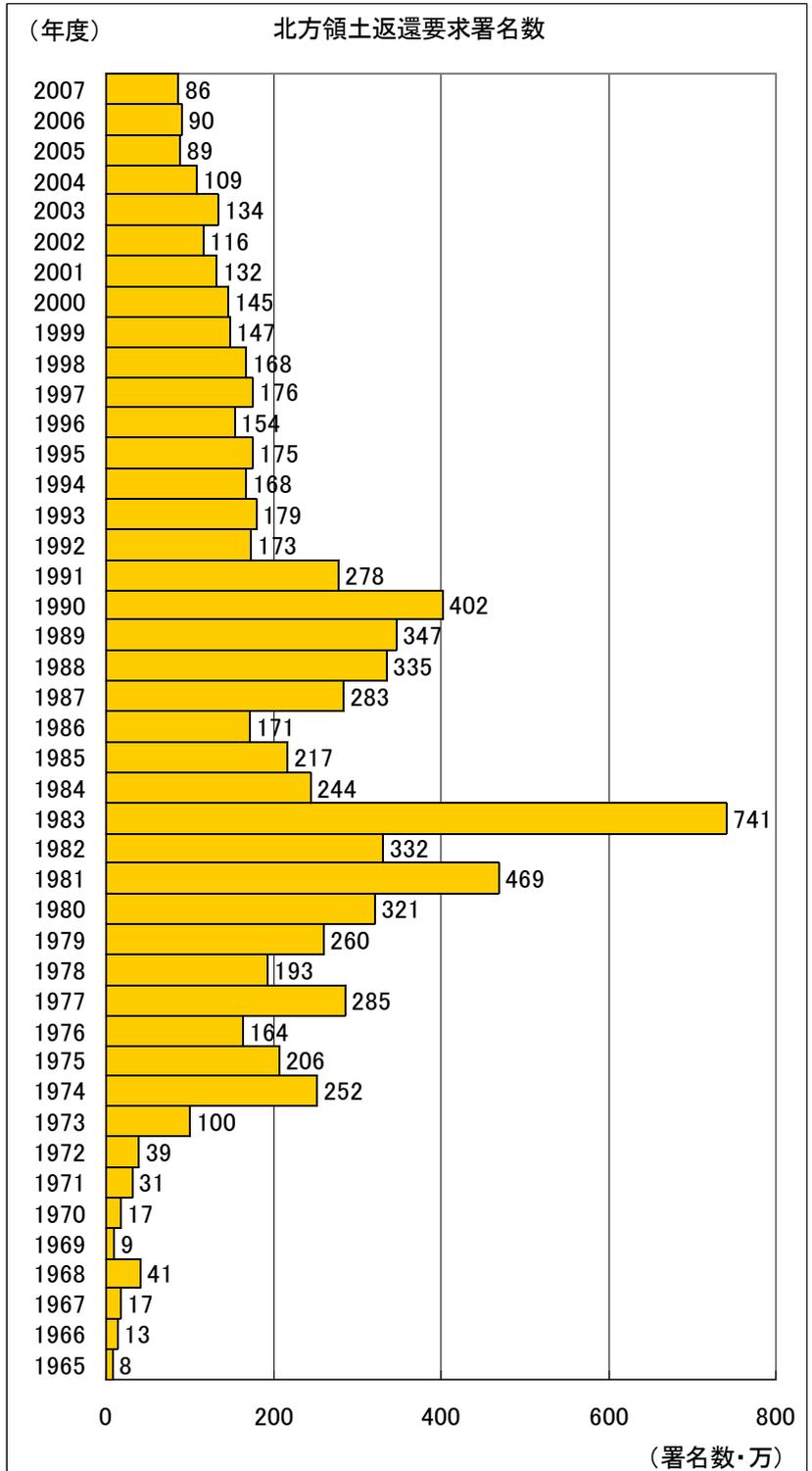
<p>「北方領土の日ができてから、署名数が増えている」  「署名が増えた年の辺りは、いろいろな事が起こっている」  「最近では交渉も少ないし、署名数もだんだん減ってきているなど思った」  「何とか解決するためには、いろいろなことが行われてきている」</p> <p>③「北方領土の日」や「返還要求署名」、「ビザ無し交流事業」の写真を見て、気づいたことを発表する。(8分)</p> <p>「北方領土の日は、初めて知った」  「署名なら全国どこでもできると思った」  「ロシアの人々と交流するのはいいことだと思う」</p>	<p>あう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>永年にわたって領土返還運動が続いていることや最近の動きについて確かめる。</li> <li>写真を提示して、気づいたことや疑問を発表しあう。</li> <li>「ビザ無し交流の様子」は、詳しく説明する。</li> <li>様々な運動で人々が努力していることをおさえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真 「北方領土返還要求全国大会」 「返還要求署名の様子」 「北方4島ビザなし交流の様子」</li> </ul>
<p>終末</p> <p>④北方領土問題を解決するために、これから日本政府や国民はどのようにしていくべきかを考える。(7分)</p> <p>「北方領土問題についてもっと知らせたり、勉強したりして広めていく必要がある」  「政府も、早く交渉して問題を解決した方がいい」  「お互いによく話し合うことが大切だ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時の課題が持てるように、児童の感想から「解決方法」や「交渉、交流の経緯」について取り上げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード</li> </ul>

## 6:使用資料



写真は、北対協ホームページより

年	北方領土関係の主な出来事
2007	
2006	
2005	
2004	
2003	日露行動計画
2002	
2001	イルクーツク声明
2000	
1999	元島民と家族の自由訪問開始
1998	モスクワ宣言
1997	クラスノヤルスク合意
1996	
1995	
1994	
1993	日露関係に関する東京宣言
1992	ビザなし交流開始
1991	日ソ共同声明
1990	
1989	
1988	日ソ共同コミュニケ
1987	
1986	日ソ共同コミュニケ
1985	
1984	
1983	
1982	
1981	北方領土の日 設定
1980	
1979	
1978	
1977	
1976	
1975	
1974	
1973	日ソ共同声明
1972	
1971	
1970	
1969	
1968	
1967	
1966	
1965	北方領土返還要求署名始まる
1956	日ソ共同宣言



北方領土問題対策協会ホームページより作成